



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報 大森 海苔のふるさと館 ニュース76号

てくてく海苔と浜辺のまち歩きガイド 所要時間約90分 コース⑤

館の周辺をお散歩してみませんか。海苔や浜辺の面影が分かる場所を数回に分けて紹介します。



今回は、旧呑川周辺のコースです。舟に乗った気分で旧呑川緑地を歩いたり、海苔養殖の伝承が伝わる寺社を巡ったりしてみてください。

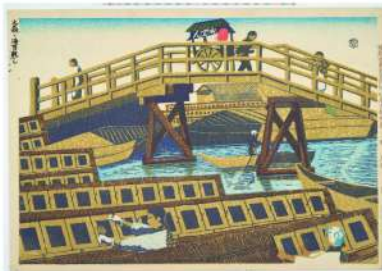
海岸線から海を眺めると、埋め立て地や高速道路、モノレールなどが目に飛び込んできます。いずれも、大森の海苔養殖が終わった後に建設されました。街の移り変わりを感じながら、歩いてみてください。

①旧呑川緑地

呑川は、洪水対策として昭和10年（1935）に、夫婦橋下流を藤兵衛掘と繋げる工事をした。旧呑川は海苔船の河岸として利用された。冬は海苔乾し場、春から秋は資材置き場や作業場としても使われた。海苔養殖が終わった後に埋め立てられ、昭和57年（1982）に緑地が整備されて人々の憩いの場所となっている。

②潮見橋

船が通れるように真ん中が高くなった橋がかけられていた。



「大森・海苔乾し」 昭和大東京百図絵版画 昭和12年 小泉癸巳男

③信用組合と信用金庫

昭和37年（1962）の漁業権放棄後に、補償金の一部を出資する形で昭和40年（1965）に東京沿海信用組合が創立された。後に東京富士信用組合に改称し、平成14年（2002）に現在の共立信用組合に事業譲渡された。また、大正8年（1919）、主に海苔生産者に対する経済支援を目的に東京府水産信用購買販売生産組合が発足し、改称を経て、平成14年に現在のさわやか信用金庫になった。

④三輪島神社

地元では弁天神社の名で親しまれ、境内には昭和16年（1941）に川端海苔漁業者が奉納した灯ろうがある。

毎年2月11日には水神祭を行っており、今も海苔漁業関係者が参詣に訪れることもある。

神社には源義経の海苔起源伝説が伝わる。伝説によると治承4年（1180）に源義経が郎党を率いて多摩川を渡る際、強風に見舞われ大森沖を漂流した。その時、舟から見える小高い神社に祈念したところ風が収まった。その社が巖島社だった。その加護に感謝して社殿を修理し、浜辺に注連竹を建てた。この注連竹に付いたのが海苔だった。それ以来、大森の海苔の守護神として信仰されている。



⑤密乗院

鎌倉時代に創建。板海苔を考案したと伝わる初代・野口六郎左衛門と、大森の御膳海苔の漁場を守ろうと尽力するも中追放の処罰を受けた北大森村百姓惣代の野口六郎左衛門の菩提寺でもある。平成22年(2000)、住職と元海苔生産者らで『海苔のこゝ大森のこゝ』を発行した。(ふるさと館で販売中)

⑥北村神社

堀之内三輪神社の末社。大森の海苔ヒビ建場改めの危機に、^{いわたしのがみ}継続の決断を下した北村石見守を祀り、元海苔漁業者に信仰されてきた。しかし、北村石見守は実在しないことから、⑤で触れた北大森村百姓惣代の野口六郎左衛門を名を隠して祀ったのではないかと考えられている。

⑦森ヶ崎鉦泉跡(大森寺内)

森ヶ崎は、かつてヨシ原が茂る土地だった。明治10年ごろに地元の豪家が洲を埋め立てて土地が開かれていった。明治32年(1899)に鉦泉が発見され、鉦泉旅館や料理店、鉦泉病院などが開設されて、森ヶ崎鉦泉街として栄えた。馬込文士村の代表格の尾崎士郎は、鉦泉旅館で『人生劇場』の後半を執筆した。大森寺には、森ヶ崎鉦泉の発見を伝える碑が立っている。

⑧森ヶ崎海水浴場跡

昭和5~6年ごろから昭和12年(1937)までの間に、森ヶ崎海水浴場が開設された。現在の森ヶ崎水再生センターの北側の堤防には、約250人が休憩できるよしず張りの^{きじき}棧敷があった。地元の出店や貸しボートなどもあった。大森在住で日本古式泳法水府流荒谷派の二代目・荒谷三郎氏が、水泳教室を開き、泳法の普及に努めていた。



『水府流水術荒谷派秘伝書』より
荒谷三郎氏所蔵

展示室から
ピックアップ

ふ ぼう
振り棒

常設展示室に展示している海苔の資料の中から、一点を取り上げて紹介するコーナーです。

初回は「振り棒」をピックアップします。



何に使うもの? 海苔養殖は、江戸時代中期、浅瀬にヒビと呼ぶ粗朶木(のちには竹)を建て、それに海苔の胞子を付けて生長させ、収穫することで始まりました。このヒビを海中に建てるための穴を開ける道具が振り棒です。本体は樫の木でできていて、先端は鉄で巻いてあり、鉄のタガで締めています。

江戸時代後期の農学書の『公益国産考』(天保13年発行)は、江戸時代の文献の中では最も詳しく海苔生産の方法が記述されています。その中に、粗朶と振り棒の図が描かれています。(右の図)

使い方 二股になっている持ち手を両手で握り、海底を突きます。棒を前後左右に揺すりながら穴を掘り、股に足をかけて踏み込みます。これを何度か繰り返して、穴が空いたら振り棒を抜いて素早くヒビ差し込んで建てました。



上の写真は、10月29日に大森ふるさとの浜辺公園で職員とボランティアがヒビ建てをした時のものです。本来は一人で行いますが、難しい作業です。

既にこの振り棒を修理できる職人がいないため、実物を応急処置しながら使っています。体験用に使用できる振り棒をお持ちの方がいらしたら、ぜひ、ご提供お願いします。

(五十嵐)



『公益国産考』
天保13年刊

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」76号

令和2年11月1日発行
編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区
平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347

海苔のふるさと会
会員募集中!!

当館の活動を支援して下さる会員を募集中。会員には年6回、このニュースをお届けします。詳細は電話またはホームページにて。